


県政運営の基本方針2013に向けた視点について

(たたき台)

平成24年10月  広島県

これまでの主な取組

2010年

1月 広島県経済財政会議の設置

10月 **ひろしま未来チャレンジビジョン** 《概ね10年後を展望》

12月 **H23県政運営の基本方針** 《ビジョンを具現化するため、毎年度作成》

中期財政健全化計画(H23~H27)

行政経営刷新計画(H23~H27)

(主な計画の策定)

2010年

▶2020農林水産業チャレンジプラン(12月)

2011年

▶瀬戸内 海の道構想(3月)

▶社会資本未来プラン(3月)

▶ひろしま産業新成長ビジョン(7月)

2012年(予定)

▶ひろしま産業イノベーション加速戦略(仮称)

▶広島都市圏における魅力創造戦略(仮称)

2011年

4月 人材マネジメントの実施
(目標管理とそれに連動した評価制度)

PDCAの仕組みの構築

12月 **県政運営の基本方針2012**

2012年

4月 執行モニタリングの開始

2010

■ひろしま未来チャレンジビジョンの策定

- 平成22年度は、「ひろしま未来チャレンジビジョン」を策定し、概ね10年後を展望した本県の将来像を示すとともに、イノベーションによって新たな価値を創造していくことを基本に、4つの政策分野の好循環を形成するための道筋を明示
- また、ビジョンの具現化に向けた翌年度の「県政運営の基本方針」として、とりわけ好循環の推進力となる《経済成長》と共通基盤となる《人づくり》への重点的な取組の方向を整理

【目指す姿】

将来にわたって、『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える広島県の実現

人づくり

◇ 経済、医療、福祉、教育など、あらゆる分野での力の源泉は「人」であり、経済活動を始めとするグローバル化が進展する中においては、グローバル化に対応した人材育成という視点も必要です。

教育
多様な主体の社会参画
人が集まり定着する環境整備

新たな経済成長

◇ 人口減少の中で社会を維持していくには、イノベーションを通じて強い経済をつくり、魅力ある雇用を創出する必要があります。

新たな産業・基幹産業
農林水産業
観光
産業人材・就労
交流・連携基盤

豊かな地域づくり

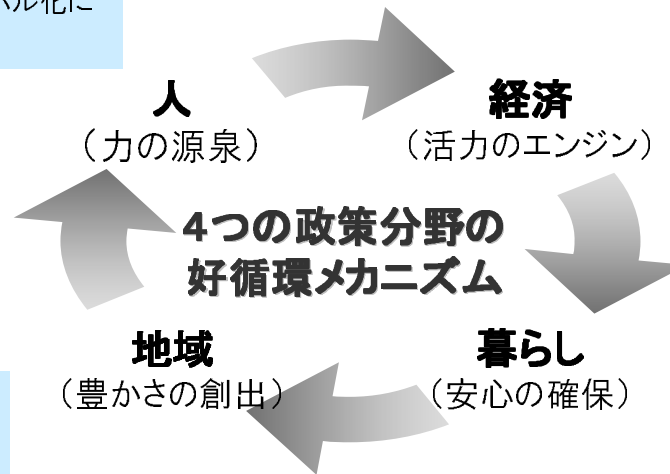
◇ 地域の特性や資源を活用し、ほかにはない魅力を創出しながら、新たな活力を生み出していくことが求められます。

県民主役型地域社会
地域資源活用・地域情報化
都市地域
中山間地域
平和貢献

安心な暮らしづくり

◇ 行政の第一の役割は、民間では難しい公共サービスの提供などにより、県民の暮らしの安心を確保することです。

医療
健康
福祉・介護
子育て
環境
防災・防疫
消費生活
治安



■「新たな経済成長」と「人づくり」分野への重点化

- 平成23年度は、「県政運営の基本方針」に基づく重点2分野を中心に、人づくり分野においては、人材育成や仕事と子育て応援などの取組を拡充
- 経済成長分野においては、「医工連携プロジェクトチーム」の設置や広島版「イノベーション推進機構」の設立など、新たな視点からの取組に着手
- また、10年先を見据えた本県産業の進むべき方向性や道筋を整理し、社会経済や市場の動向に、柔軟かつ的確に対応できる“イノベーション立県”を目指した「ひろしま産業新成長ビジョン」を策定

主な取組内容

(人づくり)

- イノベーション人材の育成
- 留学生の受入と定着を倍増
- 仕事と子育ての両立支援

(経済成長)

- 「ひろしま産業新成長ビジョン」の策定
- 新たな産業クラスター形成の促進
- 医工連携プロジェクトチームの設置
- 医工連携ビジネスの交流拡大

(暮らし, 地域)

- 「がん対策日本一」の推進
- 過疎地域の未来創造支援

など

ひろしま産業新成長ビジョン(2011年7月)

～イノベーション立県の実現～

基本方針

【3つの視点】

- 地域のイノベーション力の徹底強化
- 本県の「強み」や「強みの芽」を最大限に活用
- アジアの活力を取り込み

産業振興の方向性

- 新たな産業の育成
- 基幹産業の競争力強化
- アジアを中心とする事業展開(アジア戦略)

付加価値・競争力を高める **イノベーション力の強化**

マインド

人材

研究・技術開発

資金

周辺環境

事業化

■4分野の好循環を通じて成長の原動力を加速

- 4つの政策分野の好循環を視野に、重点分野の人づくりと経済成長に加え、暮らしと地域づくりの分野においても、重点分野の後押し効果を最大限に発現する取組を拡充
- また、経済成長の原動力となるイノベーション力の徹底強化に向けて、産業面からの《イノベーション加速戦略》や地域環境面から人材を惹きつけるための《都市圏の魅力創造戦略》の検討に着手し、現在、中間まとめの作業段階

- ◎ イノベーション力の徹底強化は、現在、人材育成などの取組が緒に着いたところである。一方で、人材が集まり、活躍するための環境整備など、経済成長分野だけでなく、すべての分野に連関する要素があり、分野を横断した視点で、総合的な取組を行うことが不可欠である。
- ◎ このため、来年度に向けては、《イノベーションを起こす》ために不可欠な要素と基本的な視点を整理した上で、4つの政策分野に横串を入れて取組方向の検討を進め、「県政運営の基本方針2013」に反映させる。

重点分野

人づくり

- 女性の社会参画の促進
 - ✓ 結婚・出産, 子育て, ポスト子育て期に応じた就業支援策
 - ✓ キャリアを活かせる就業の受け皿の創出
- グローバル人材の育成・確保
 - ✓ グローバル感覚を持った人材の継続的な育成
 - ✓ グローバル人材の受入拡大
- 社会減に歯止めをかける対策
 - ✓ 若年層の転出超過に歯止め
 - ✓ 就職等でのU・ターン促進
- 将来の広島県を支える人材の育成
 - ✓ すべてのベースとなる子どもたちの学力・体力の向上
 - ✓ 実体験などを通じた全人的な教育

新たな経済成長

- 新たな成長産業の育成
 - ✓ 次代を支える医療関連・環境浄化産業クラスターの形成
 - ✓ 「ひろしまブランド」「瀬戸内ブランド」の構築に向けたプロモーション強化
- アジア市場への参入・獲得（アジア戦略）
 - ✓ 中国内陸部をはじめとしたアジアとの経済交流の拡大
 - ✓ アジアとの交通・物流機能の拡充・強化
- **イノベーション力の徹底強化**
 - ✓ イノベーション人材の育成・確保
 - ✓ 研究・技術開発や事業化に向けた環境整備
- 自立に向けた農林水産業のイノベーション
 - ✓ 経営力のある担い手の育成
 - ✓ 「売れるものを作る」生産体制の確立
 - ✓ 戦略的な販売・流通等の仕組みの構築

世界を視野に
Globalization

多様な人材の集積
Diversity

新しい価値の創造
Innovation

重点分野の可能性を
最大限に後押し

安心な暮らしづくり

- 地域医療体制の確保
 - ✓ 医療資源の効果的な活用
 - ✓ 「がん対策日本一」の推進

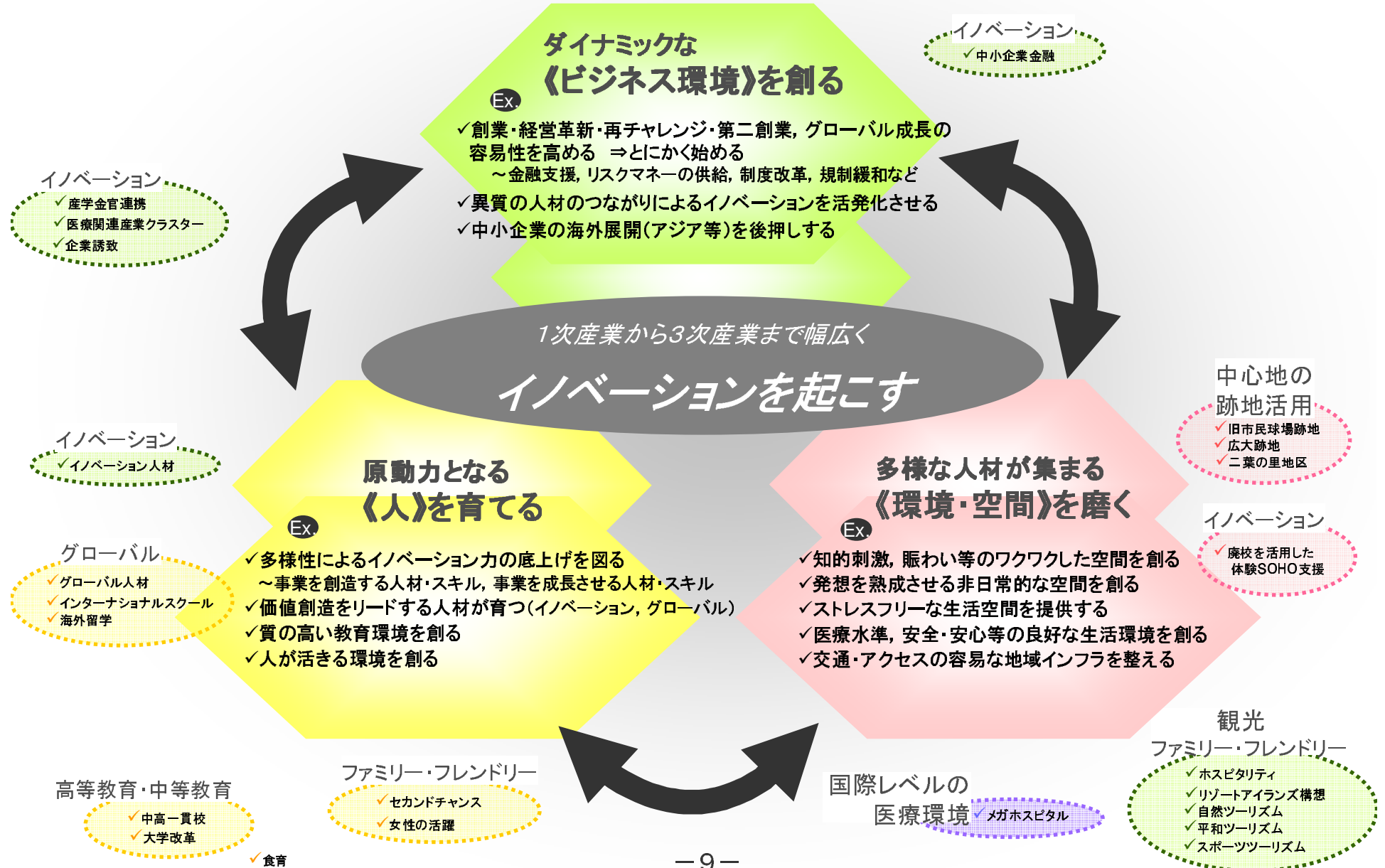
豊かな地域づくり

- 内外の人々を惹きつける魅力ある地域環境の創出
 - ✓ 内外からクリエイティブな人材が集う地域の活力強化
 - ✓ 活力を生み出す中山間地域の未来創造

～ イノベーションを起こす ～

- 人口減少や少子高齢化，グローバル化の進展などによる内需の低迷に加え，急速な円高など，かつて経験したことのない時代の大きな転換期にある中で，将来にわたって，本県が持続的な成長を続けるためには，1次産業から3次産業まで幅広くイノベーションを起こす必要がある。
- イノベーションに適した，より豊かな環境を構築するためには，イノベーション力の強化に直接つながる3つのT(テクノロジー: *Technology*, 有能な人材: *Talent*, 許容性: *Tolerance*)に加え，人材を誘致する観点から，人を惹きつけ活性化させる，活気ある「場」や，若者が安心して子どもを生み，育てられる「生活環境」，更には，大都市圏と明確に差別化できる魅力ある「地域環境」を創出することが重要である。
- こうしたことを踏まえ，平成25年度は，イノベーションと密接に関わり，重要な要素となる《ビジネスの環境》，《人材の育成》，《人を惹きつける地域環境》を軸に，4つの視点から施策の重点化を図り，結果として中長期にわたって，有能な人材の集積と高水準の継続的イノベーションが起こる「好循環サイクルの形成」を目指す。

イノベーション創出力の底上げに向けた関連図



■ダイナミックな事業環境

- イノベーションに必要な環境の好循環を創り出していくためには、人材の多様性や企業間・地域間のつながり力の強化によって、新しいアイデアが次々と生まれる環境（⇒三人寄れば文殊の知恵）を創り、同時に、アイデアを形にするための様々なスキルを持った人材の確保や創業、新事業展開を容易にする環境を創り出していくことが不可欠である。
- こうした環境の中で、有能な人材が集まり、そのつながりの中で新しいアイデアが生まれる。更に、様々なアイデアを見立てる力、仕立てる力、動かす力、グローバルに展開していく力を持った人材が、アイデアを実現する。こうして地域におけるイノベーションが活発化し、新しい企業が生まれ、集まる中で、新しい価値の創造を源泉とした、経済の持続的な成長が促され、そこに新たな雇用と所得が生み出されていく。
- こうしたことを踏まえ、来年度は、イノベーションの創出を具体化、加速化させる観点から、やる気のある人材や企業の底力を後押しし、多様な創業や事業展開を加速させる。また、イノベーション創出の好循環を創っていくクラスター形成を図る。
更に、潜在的な競争力を持つ企業の海外展開への障壁を取り除き、アジアを中心としたグローバルなつながりによるネットワークを強化する。

ダイナミックな事業環境

○創業の活発化・新事業展開の加速

- ✓つながりによるネットワーク強化, 多様な創業・事業化支援
- ✓新たなビジネス・投資を支える大胆な環境整備

○クラスターの形成

- ✓次代を支える医療関連・環境浄化産業クラスターの形成
- ✓医療関連産業にとって魅力ある症例集積と効果的な治験体制の構築
- ✓都市部の医療体制の再構築による医療の高度化, 医療環境の充実

○海外とのつながり

- ✓アジアとの経済交流の確立
- ✓アジアとの交流・物流ネットワークの確立

○人材の多様性 ⇒ 「多様な人材の集積」へ

これまでの取組

- ◆「イノベーション立県」に係るビジョンを共有し, 取組を推進するため, 県内産学金官のトップによる会議を設置

H25に向けたポイント

《アイデア創出》

- 多様なイノベーションアイデアが生まれる場づくり
異分野の融合による新ビジネス創出を支援 など

《事業化支援》

- 多様な創業・新事業展開を効率的に生み出す仕組みの構築
創業の類型に応じたきめ細かい創業支援環境を整備 など
- コーディネーター配置によるハンズオン支援
中小企業のニーズをベースにした共同研究・製品開発をコーディネーターがハンズオンで支援
- マッチングファンド方式による共同研究資金の支援
企業の共同研究費に応じたマッチングファンド方式の資金支援

これまでの取組

- ◆医療関連分野のクラスター形成に向けたアクションプランの策定(H24.7月)
[H32目標] 医療機器等生産額 1,000億円, 医療機器等製造企業数 100社
- ◆企業の販路拡大や研究機器整備等への助成, 産学官による研究会活動を支援
[H24目標] 医療機器等生産額 112億円, 医療機器等製造企業数 33社

これまでの取組

- ◆四川省現地事務所の開設
- ◆海外販路拡大に向けたマッチング

■ 多様な人材の集積

- 多様化した市場の中で新たな付加価値を生み出していくのは人材であり、イノベーションを加速化する上で最も重要な要素として、多様な人材の能力を最大限活用することが不可欠である。
- このため、とりわけ、ダイバーシティ推進の一翼を担い、様々な視点や異なる経験を糧に活躍が期待される留学生、海外経験者及び女性、また、将来の成長・活躍が期待される若者など、多様な人材の育成・確保を図る。
- また、アイデアを活かして新しい価値を創造する人材が集う環境、企業内を含むアントレプレナー(起業家)が育つ環境を創り出す観点から、《魅力あるフィールド》や《活気ある場》を提供できる地域環境の充実に重点的に取り組む。

多様な人材の集積

○新たな価値を創造する人材、 海外市場の開拓に必要な 人材の育成・集積

✓新たな価値を創造する人材，グローバル化
に対応し活躍できる人材の育成

✓県内企業のグローバル化に対応できる
海外人材の積極的な確保

✓女性の就労環境，社会人のブラッシュアップ
⇒ファミリー・フレンドリー，教育へ

✓新たな価値を創造する人材が集う地域環境
づくり

これまでの取組

- ◆小中学校⇒郷土愛育成(ひろしま自慢)事業(参加79校)，県内大学留学生等を活用した小中学校向け国際交流スペースの開設(県内2箇所)
- ◆高等学校⇒海外高校との姉妹校提携，留学支援(各校1人を視野)
- ◆大学⇒県内大学への海外からの留学生受入支援と卒業後の県内企業への就職定着の拡大
- ◆中小企業の社員派遣研修費用や，個人の学位取得(MBA，MOT等)に要する費用を助成(H24:45人)
- ◆人材紹介会社等を利用した中小企業等による県外の即戦力人材の確保を支援(H24:10社)
- ◆広島都市圏の活性化策の調査・検討を実施(H24:「都市圏魅力づくり推進課」新設)

H25に向けた
ポイント

○次世代を担う経営幹部人材の養成

経営者等を対象とする「イノベーター養成塾(仮称)」など

○「広島都市圏における魅力創造戦略」の具体化

市内中心部の跡地活用，平和記念公園周辺地区の活性化，
魅力ある建築物の創造 など

○若者(潜在的イノベーター/ グローバル人材)の定着

✓若年層の転出超過に歯止め

✓就職等でのU・ターン促進

これまでの取組

- ◆県内大学連携による人材育成プログラム開発
- ◆県内企業による出前講座，インターンシップの実施
- ◆関西大学向け就職説明会(オンキャンパス・リクルーティング)

H25に向けた
ポイント

○県内大学の共用サテライトキャンパスの開設，運用(市内中心部)

企業が求める即戦力の育成に重点を置いた単位互換講座等を実施

○就労セカンドチャンスや多様な働き方を奨励する仕組みの検討

ベストプラクティスの発信による経営層の意識改革など

■ファミリー・フレンドリー

- イノベーションの原動力となる多様な人材を内外から惹きつけ、U. I. Jターンを促すためには、家族も揃って《行きたい、住んでみたい》と思える環境(様々な要素:物理的要素,社会的要素,心理的要素を含む)が極めて重要であり、多様な人材の集積を後押しするとともに、結果として、ダイナミックな事業環境に対する側面的な貢献要素となる。

- とりわけ、家族で移り住んで来たくなる地域的な魅力として、女性が「安心して働き、子どもを生子、育てられる環境」は不可欠な要素である。また、結婚や出産後も能力に見合ったキャリアを継続できる環境づくりや多様な働き方を支える体制づくりは、女性の能力を活かした、多様性によるイノベーションの活発化にもつながることから、より効果的かつ幅広い観点からの対策に取り組む。

- また、3大都市圏にはない、家族にとっての魅力を生み出す観点から、都市圏と自然環境の近接性など、本県地域の特性を活かした魅力を最大限引き出し、安心・安全な生活環境や家族揃って楽しめる「場」の提供など、ファミリー・フレンドリーな視点に立った魅力づくりを進める。

ファミリー・フレンドリー

○仕事(Work)

～家庭(子育て)と両立しやすい就労環境

- ✓結婚・出産, 子育て, ポスト子育て期に応じた就業支援策
- ✓キャリアを活かせる就業の受け皿の創出

○生活(Life)

～安心・安全な生活環境,
都市圏と自然環境の近接

- ✓活力を生み出す中山間地域の未来創造
- ✓都市圏と中山間地域の一体的生活圈域化
- ✓プライマリケア医を中心とする広島版地域包括ケアシステムの構築
- ✓「ひろしまブランド」「瀬戸内ブランド」の国内外への浸透と観光産業の高度化

○教育(Education)

～充実した教育環境

⇒ 教育へ

これまでの取組

- ◆保育ニーズの量的拡充, 多様なサービスの充実
～保育所施設の増改築(7箇所), 延長保育や病児・病後保育, 子育てサポート人材の養成, 放課後児童クラブ(282箇所)・放課後子ども教室(129校区)の運営
- ◆大型ショッピングセンターに設置する「子育てサポートステーション」の実施箇所拡充
- ◆子育てしやすい職場環境の整備促進のため, 意識啓発キャンペーン, 男性の育児休業の取得支援, 事業所内保育所施設の設置助成等
- ◆マザーズハローワーク等と連携した就職マッチング等
(「しごとプラザマザーズひろしま」を広島市内に開設)

H25に向けた
ポイント

○子育てに配慮した住環境の整備

ひろしま版子育てしやすい住まい環境の認定制度創設

○県内企業と連携した食育の推進

食品関連企業等の社会貢献と連携し, 給食を活用した体験型授業等の実践

これまでの取組

- ◆魅力ある中山間地域の形成に向け, 産業対策を基本とした総合的な取組を行う
全過疎市町を支援(全域過疎:9市町)
- ◆自然を活用した学習など, 長期宿泊型(3泊4日)体験活動の推進(小学校45校程度)
- ◆「がん対策日本一」の実現に向け, 先端的ながん医療を行う「高精度放射線治療センター(仮称)」を整備(二葉の里地区, H26運営開始予定, H24実施設計)
- ◆新たな観光振興コンセプトに基づく「ひろしまブランド化キャンペーン」や「平清盛観光キャンペーン」を実施, 「瀬戸内 海の道構想」の推進に向けた他県との連携体制構築

H25に向けた
ポイント

都市と中山間地域の一体的生活圈域化にどう取り組むか

■社会で活躍する人材教育

- 社会経済活動のあらゆる場面でイノベーションを起こし続けていく必要があり、その原動力となる人材の育成を担う教育については、地域、社会の将来像を見据え、その質的向上を図り、社会で活躍する人材を育成していくことが重要である。

- 小・中・高等学校教育の段階では、人づくりの基礎を固める時期として、より高い水準で「知・徳・体」の基礎・基本をしっかりと身に付けるための対策に引き続き取り組む。
また、社会人が身に付けておくべき資質として、経済界等から特にニーズの高いチャレンジ精神や異文化理解を含むグローバルな感覚を持った人材の育成にも注力する。
更に、昨今の深刻ないじめ等の発生を踏まえ、学校教育に対する早期の信頼回復に向けて、安心して勉強できる学校環境の確保に総力を挙げて取り組む。

- 大学教育の段階では、「大学⇔企業」という人の移動を通じ、教育成果を産業界に移転するアンカーとしての役割への期待に、一層、応えていくため、産業人材のブラッシュアップを含む県内大学全体の人材育成機能の強化を図る視点で、大学連携による教育内容の質的向上を図る。

社会で活躍する人材教育

○安心して学べる教育環境の確保に向けた緊急対策

✓安心して学べる教育環境の確保

○小・中・高等学校段階での教育内容の質的改革

- ✓小中高を通じた高い学力の定着
- ✓広島のを活かし、幅広い人間性、感性を養う多様な体験活動の実施
- ✓グローバル化に対応し活躍できる人材の育成
- ✓イノベーションを生み出す原動力となるチャレンジ精神の育成

○大学段階での教育内容の質的改革

✓国公立大学アライアンスによる県内大学教育の質の向上

これまでの取組

- ◆生徒指導上課題を抱える学校(小:34校, 中:15校, 高:12校)において,社会参加の意欲や態度など,社会性等の育成に向けた体験活動の実施支援等

H25に向けたポイント

○恒常的に課題を抱える学校の生徒指導体制の早期回復【緊急重点支援】
問題行動の事例に応じ,外部専門家チームの派遣や警察OBの派遣等

これまでの取組

- ◆全公立小中学校対象の「基礎・基本」定着状況調査の結果を検証し,各学校の主体的な授業改善を推進。特に課題のある学校に対する集中的な対策の実施
- ◆全県立高校対象の共通学力テストの結果を検証し,各校主体の授業改善を推進「トップリーダー校(6)」、「チャレンジ校(15)」、「ステップアップ校(15)」を指定し,習熟度別対策
- ◆公立小学校5年生を対象に3泊4日の長期宿泊体験活動を実施(68校)
- ◆県立高校での姉妹校提携・交流支援,生徒の海外留学を支援する助成制度の運用
- ◆高校生によるビジネスプランの作成及び地元企業等と連携した企業活動の実践

H25に向けたポイント

○県内企業と連携した食育の推進

食品関連企業等の社会貢献と連携し,給食を活用した体験型授業等の実践

○小・中・高一貫したチャレンジ精神の育成

小中高の発達段階に応じた教育カリキュラムの開発・実践等

○海外留学への支援の強化～10年で1,500人

大学との連携による制度面(入試等)の不安解消,留学相談員の配置等

これまでの取組

- ◆県内大学連携による人材育成プログラム開発

H25に向けたポイント

○県内大学の共用サテライトキャンパスの開設,運用(市内中心部)

企業が求める即戦力の育成に重点を置いた単位互換講座等を実施